

南アルプスプロフィール



Profile of the Minami-Alps



どこにあるの?



山梨県、長野県、静岡県にまたがって連なる山脈で、「赤石山脈」や「赤石山地」とも呼ばれます。

広義には、諏訪湖を頂点とし、東は山梨県の釜無川と富士川、西は長野県の天竜川に挟まれた山地をさします。

核心部の3,000m級の主稜線を中心として国立公園に指定されています(35,752ha)。

南アルプスに北アルプス(飛騨山脈)、中央アルプス(木曽山脈)を合わせて「日本アルプス」と呼ばれることもあります。



どんなところ?

日本で二番目に高い北岳(3,193m)をはじめ、標高3,000m以上の高峰が10座以上ある山地です。

日本アルプスの中では最も南に位置し、夏に雨が多く、冬の雪は少ない山域です。豪雪の北アルプスと比較して、「雪の北アルプス」「雨の南アルプス」と特徴付けられます。

大量の雨が引き起こす河川侵食作用によって、深く切れ込んだV字谷が数多く見られます。

また、積雪量が少ないとから、森林限界の標高が高く、森に覆われています。



赤石岳と荒川小屋



何がいるの?



南アルプスには、氷河時代に分布を広げ、その後温暖になっていく過程で、気温の低い高山に残った生物(氷河時代の遺存種)が見られます。

ライチョウやキタダケソウ、チョウノスケソウ、タカネマンテマ、ムカゴユキノシタなど高山に生きる一部の動植物がこの「氷河時代の遺存種」です。

その他、テカリダケフキバッタや、キタダケキンポウゲ、サンブクリンドウなど、南アルプスやその周辺地域にのみ分布している固有種がいます。